

教会誕生

新シリーズ
～福音となったイエス～

2026・2・1

五旬祭の日の奇跡

- 聖靈が降り120人が知らない言葉で話出した
 - 「一同は聖靈に満たされ、“靈”が語らせるままに、ほかの国々の言葉で話しました。」(4)
- 集まった人たちがその言葉を理解した
 - 祭りのためにエルサレムにいたディアスポラ
- ペトロたちが立ち上がって話出した
 - これは旧約聖書(ヨエル書)に預言されていた事
 - イエスは神から遣わされた方だったが、ユダヤ人たちが殺してしまった
 - しかしイエスは復活し、今は天に昇って聖靈を注いでおられる

使徒言行録2章41～46節

ペトロの言葉を受け入れた人々は洗礼を受け、その日に三千人ほどが仲間に加わった。彼らは、使徒の教え、相互の交わり、パンを裂くこと、祈ることに熱心であった。

すべての人に恐れが生じた。使徒たちによつて多くの不思議な業とするしが行われていたのである。信者たちは皆一つになって、すべての物を共有にし、財産や持ち物を売り、おののおのの必要に応じて、皆がそれを分け合つた。

使徒言行録2章41～46節

そして、毎日ひたすら心を一つにして神殿に参り、家ごとに集まってパンを裂き、喜びと真心をもって一緒に食事をし、神を賛美していたので、民衆全体から好意を寄せられた。こうして、主は救われる人々を日々仲間に加え一つにされたのである。

新しく加えられた人たち

- 「ペトロの言葉を受け入れた人々」
 - イエス本人に従ったのではなく、イエスについての教え(福音)を受け入れた最初の人たち
- 「洗礼(バプテスマ)を受けた」
 - イエスが天に昇られる前に、「あなたがたは行って、すべての民をわたしの弟子にしなさい。彼らに父と子と聖霊の名によって**洗礼を授け**」(マタイ28:19)るよう命じられていた
- 「その日に三千人ほどが仲間に加わった」
 - 三千人の人たちにどこでどうやってバプテスマを授けたのだろうか？



ミクヴェ

ユダヤ人が清めの
沐浴のために使う
水槽



最初の教会は何をしていたか？

①「使徒の教え」

- ・旧約聖書に基づいて、イエスの死と復活と昇天の意味を理解する
- ・イエスの言葉や教えを思い出しながら教える
- ・イエスの行動・奇跡・癒しなどを伝える

②「相互の交わり」

- ・ギリシャ語で“コイノニア”=「分かち合う」
- ・「信者たちは皆一つになって、すべての物を共有にし、財産や持ち物を売り、おののおのの必要に応じて、皆がそれを分け合った。」
- ・互いに助け合って生活した

最初の教会は何をしていたか？

③「パンを裂くこと」(聖餐)

- ・イエスが十字架にかかる前夜、使徒たちとの最後の食事の際に命じられた
- ・パンとぶどう酒はユダヤ人にとって普通の食事だったので、**毎食十字架を思い出すこと**になった
- ・「家ごとに集まってパンを裂き、喜びと真心をもつて一緒に食事をし…」

④「祈ること」

- ・神の右に坐されたイエス向かって祈った
- ・互いのために、そして一人でも多くのユダヤ人がイエスを信じるように祈ったのではないか

最初の教会は何をしていたか？

③「パンを裂くこと」(聖餐)

- ・イエスが十字架にかかる前夜、使徒たちとの最後の食事の際に命じられた
- ・パンとぶどう酒はユダヤ人にとって普通の食事だったので、**毎食十字架を思い出すこと**になった
- ・「家ごとに集まってパンを裂き、食事をもつて一緒に食事をし…」

④「祈ること」

- ・神の右に坐されたイエス
- ・互いのために、そして一人一人のユダヤ人がイエスを信じるように祈ったのではないか

熱心で
あつた！

更に行われていた事

- ・「すべての人に恐れが生じた」
 - ・エルサレムにいた人々はこの集団に特別に神聖なものを感じていた
- ・「使徒たちによって多くの不思議な業とするしが行われていた」
 - ・イエスが行われたような奇跡や癒しが起こった
- ・「毎日ひたすら心を一つにして神殿に参り」
 - ・朝夕のいけにえを捧げる際に神殿で祈った
 - ・この時にはまだ、イエスの十字架が神殿礼拝の完成形であり、いけにえの必要はなくなった、という理解に至っていない

更に行われていた事

- 「神を賛美していた」

- 詩編などの賛美と共に、新しい賛美が生まれ、神殿や信徒の家々で歌われたのではないか

- 「民全体から好意を寄せられた」

- 教会外の人たちからも良い印象を持たれていた

- 「こうして、主は救われる人々を日々仲間に加え一つにされたのである」

- イエスを信じ洗礼を受ける人が毎日起こされた

- 仲間は増えて行ったが思いは「一つ」だった

- 仲間を加えて下さったのは「主（イエス）」だった

今も変わらない教会の営み

- 洗礼(バプテスマ)
- 教え
- 交わり(食事)
- 助け合い
- 聖餐
- 祈り
- 不思議な業とするし
- 賛美

主が
救われる人々を
日々仲間に
加えて下さる